

本年のまとめと来年への希望 その2

- 1 全国大会出場する部活動が増加し、全国での結果も満足することができたか。

運動系の部活動では、ラグビー部が5月までに幸先よくセブンスの全国大会出場を決めたが、全国大会出場するものの、まだまだ力の差は大きく、また、インターハイ競技においても、男女テニスも陸上も、全国の壁は厚かった。80点

文科系の部活動や委員会においては、放送部や文学部や化学部が、全国総文祭に出場し、放送部では、アナウンス部門で全国大会1位相当の賞をいただいた。吹奏楽部も、全国大会出場で銀賞、合唱部も東北大会に出場した。ので、80点

- 2 生徒の学力向上を果たし、国立大学140名、難関大学50名を達成することができるか。

AO推薦や公募推薦の出だしは上々である。指定校推薦も、思いのほか合格を果たしている。よって、今後のセンターテストの結果いかんによっては、国公立は期待できる。また、難関大学も期待したい。ので、期待値を含めて、80点。

- 3 今後の学校の発展のための仕掛けづくりを準備できたか。

学校内での議論は徐々に始めているが、校内だけではない、世論を味方にした大規模な改革が今後必要である。まだつかみきれないので、50点。

- 4 保護者や同窓会、および外部団体との連携を構築できたか。

保護者への説明責任は、できる限り力を注いできたが、まだ、様々な所で不十分なところがあり、80点。

同窓会においては、全国の同窓生の声を聴くことができたので、80点。外部団体については、今後の検証において明らかにしていく。

- 5 生徒の事件事故や学校事故不祥事などを防止することができたか。

昨年と比べ、交通事故や指導案件は激減したので、90点。やっと校長の考えを理解してくれたと思うが、その先が大切なので90点。

総合平均 76点